

## 【レンタル規約】

### 第1条(レンタル物件)

貸主(以下乙という)は借主(以下甲という)に取り決めた計測器等レンタル物件(以下物件という)を賃貸(以下レンタルという)し、甲はこれを借り受ける。

### 第2条(レンタル期間)

- 1)レンタル期間は別途取り決めの通りとし、乙が甲に物件を引き渡した当日から起算する。
- 2)レンタル期間は、甲から解約の申し出が無い限り1ヶ月単位で自動的に更新する。

### 第3条(レンタル料)

甲は乙に対して別途取り決めのレンタル料を別途取り決めの支払方法によって支払う。

### 第4条(物件の引き渡し)

乙は物件を国内の甲の指定する場所において引き渡す。

### 第5条(担保責任)

- 1)乙は甲に対して、物件の引き渡し時において物件が正常な性能を備えていることのみを担保し、甲の使用目的への適合性については担保しない。
- 2)甲が乙に対して物件の引き渡し日後2日以内に書面により物件の性能の欠陥を通知しなかったときは、物件は正常な状態を備えて引き渡されたものとする。
- 3)物件引き渡し後の甲の責に帰すべからざる事由によって物件が正常に作動しなくなった場合、乙は物件を修理又は取り替えるものとする。この場合において、乙は物件使用不能期間中のレンタル料を日割計算により減免する他は、甲に対して損害賠償の責を負わない。
- 4)前項の物件の修理又は取り替えに過大な費用又は時間を要する場合、乙はレンタル契約を解除することができる。

### 第6条(物件の保管、使用、維持)

- 1)甲は物件の保管、使用に当たり、善良なる管理者の注意をもってこれを取り扱うものとする。
- 2)甲は、乙の書面による事前承諾なく、物件の改造、加工等をしてはならない。
- 3)物件自体又はその設置、保管若しくは使用によって第三者に与えた損害については、甲がこれを賠償する。
- 4)甲は、物件を譲渡又は担保権を設定するなど、乙の権利を侵害する一切の行為をしてはならない。
- 5)甲は、物件について他から強制執行その他法律的・事実的侵害がないように保全するとともに、仮にそのような事態が生じたときは、直ちにこれを乙に通知し、かつ速やかにその事態を解消させるものとする。

### 第7条(ソフトウェアの複製等の禁止)

物件の全部または一部にソフトウェアが含まれる場合、甲はそのソフトウェアに関して次の行為をしてはならない。

- ①有償、無償を問わず、ソフトウェアの全部又は一部を第三者に譲渡若しくはその再使用権を設定すること。
- ②ソフトウェアを物件以外のものに使用すること。
- ③ソフトウェアを複製すること。
- ④ソフトウェアを変更又は改作すること。

### 第8条(物件の滅失、毀損、キャンセル)

- 1)物件の返還までに生じた物件の滅失、毀損又は物件の返還不能についての危険は、天変地異その他の原因の如何を問わず全て甲が負担する。但し、通常の使用による損耗は、この限りではない。
- 2)物件が滅失(修理不能又は所有権の侵害を含む)した場合、又は物件が返還不能になった場合には、甲は乙に対して代替物件の購入代金を支払うものとする。
- 3)物件が毀損(所有権の制限を含む)した場合には、甲は自己の費用で物件を完全な状態に復元又は修理する。
- 4)前3項の場合、甲は物件の使用の可否にかかわらず、レンタル期間中のレンタル料の支払義務を免れないものとする。
- 5)甲が物件のレンタルを申込み、乙が承諾した後にキャンセルをした場合、出荷前には機器の検査整備をして出荷するため、出荷作業完了以降には、少なくとも整備料相当の損害が乙に生じ、甲はこの賠償をしなければならないことを確認する。

### 第9条(契約の解除)

甲が次の各号の一に該当した場合には、乙は催告をせず通知のみにより本契約を解除することができる。この場合、甲は乙に対し、未払いレンタル料その他金銭債務全額を直ちに支払い、乙になお損害があるときはこれを賠償する。

- ①レンタル料の支払いを一回でも遅滞したとき。
- ②支払いを停止、又は手形・小切手を不渡りにしたとき。
- ③保全処分、強制執行、滞納処分を受け、又は破産、会社更生、特別清算、民事再生手続き、その他これに類する手続きの申し立てがあったとき。
- ④事業を休廃止、解散したとき、又はその信用を喪失したとき。
- ⑤故意又は重大な過失により、物件に修理不能の損害を与え、又は滅失したとき。
- ⑥その他本契約の各条項の一に違反したとき。

### 第10条(物件の返還)

1)本契約がレンタル期間満了により終了したとき、又は前条の規定によって契約が解除されたときは、甲は物件を乙の指定する場所へ着払いで直ちに返還する。

2) 物件に蓄積されたデータ(電子情報)がある場合には、甲はそのデータを消去して乙に返還するものとし、返還後の物件にデータが残存する場合、残存するデータの消失又は漏洩等に起因して甲その他第三者に生じた損害に関して、乙は一切責任を負わないものとする。

3) 甲が乙に物件の返還をなすべき場合にその返還を遅延したときは、期限の翌日から返還完了日までにつき、甲は乙にその日数分のレンタル料に相当する遅延損害金を支払うものとする。

#### **第11条(費用及び消費税等の負担)**

1) 本契約に基づく甲の債務履行に関する一切の費用は、甲が負担する。

2) 物件の引き渡し及び返還に関わる運送費等の諸費用は、乙の負担とする。

3) 甲は、レンタル期間の時点における税法所定の税率による消費税額をレンタル料に加算して支払うものとする。

#### **第12条(有効期間)**

本契約の有効期間は、契約書に記載した期間までとする。

ただし、期間満了の1ヶ月前までに甲乙いずれか一方から事前の書面による通知のない限り、同一条件で一年間更新されるものとし、以後同様とする。

#### **第13条(裁判管轄)**

本契約についての全ての紛争に関する管轄裁判所は、乙の本店所在地を管轄する裁判所とする。